



地域支援部だより

〒781-0010 高知県四万十市古津賀 3091

高知県立中村特別支援学校 地域支援部

TEL0880-34-1511 Fax0880-34-1625



R4. 第5号

連日の猛暑日。暑い夏でしたね。夏休みが終わり、2学期が始まりました。残暑が厳しい中で運動会の練習も始まります。コロナ感染症や熱中症対策をしっかりと、子どもたちと一緒に2学期もがんばっていきましょう！

学習会

「感覚統合について学ぼう!~子どもを理解するために~」

8月26日(金)、地域支援部主催の校内学習会を行いました。第2回目は「感覚統合について学ぼう!」ということで、子どもの困り感やつまずき、見えている姿を感覚統合の視点で考える内容でした。学習会の後半は、感覚統合遊びをみんなで体験し、楽しく学ぶことができました。



学習会の内容より

感覚統合とは

感覚統合 脳の中で行われている重要な情報処理機能

やってみよう → チャレンジ 実行錯誤 → できた

楽しい!

感覚統合における3つの原則

原則1 感覚は脳の栄養素である	原則2 感覚入力には交通整理が重要である	原則3 感覚統合は積み木を積み上げるように発達する
--------------------	-------------------------	------------------------------

感覚統合とは

感覚統合における3つの原則

① 感覚は脳の栄養素である

ほとんど無意識に使っている感覚

五感: 聴覚、視覚、嗅覚、味覚、触覚

3つの感覚: 触覚、平衡感覚、固有感覚

自分意識しやすい感覚

① 触覚
② 固有感覚
③ 平衡感覚の
3つの感覚が大事

感覚統合とは

感覚統合における3つの原則

③ 感覚統合は積み木を積み上げるように発達する

教科学習など
詩や問題文の発音・音読運動
言語機能など
ボディイメージ運動
コントロールの基礎など
姿勢・眼球運動など
基礎感覚

視覚 平衡感覚 固有感覚 触覚 聴覚

感覚の土台が不安定なので上の積み木がうまく積み上がらない

感覚統合とは

感覚のトラブルから子どものつまずきを理解する

触覚の統合のつまずき

■ 触覚防衛反応 ■ 触覚の刺激に対して「危険、これらの刺激に注意せよ、逃避または闘争の準備をせよ」もしくは「刺激に耐えることができない」という緊急事態を示すこと

通常は... 感覚の情報処理がうまくいかず

識別する役割 > 防衛する役割 → 識別する役割 < 防衛する役割

感覚情報がうまく統合されながら機能 触覚防衛反応

< 触覚防衛反応の例 >

- 生活面での拒否... 散髪、耳掃除、歯磨き、爪切りなどが嫌
- 身に付けるものへの拒否やこだわり... 帽子、手袋、靴下などを嫌がる。綿100%でない嫌、タグが嫌など
- 触れる素材に偏り... のり、粘土、砂、泥などが嫌
- 突然触られるのが嫌

感覚統合とは

感覚のトラブルから子どものつまずきを理解する

触覚の統合のつまずき

■ 情緒の不安定さ ■ 親との愛着関係を確立しにくい 共通性の発達が阻害される → 対人関係・コミュニケーションの困難さ

触覚防衛反応 → 心地よいはずの触覚刺激が不快 情緒的な安定が得られにくい

■ 触覚の低反応(触覚鈍麻) ■ 触覚系全体の反応性が低下している、感じ方が鈍くなっている状態

自己刺激行動 指しゃぶり、鉛筆や爪を噛む、髪の毛を抜くなど

併発しやすい防衛反応

■ 聴覚防衛反応 ■

- 破裂音・爆発音 ○高周波音 ○機械音
- ざわめき・反響音

感覚統合とは

感覚のトラブルから子どものつまずきを理解する

平衡感覚の統合のつまずき


- 姿勢保持の困難さ
 - ・だらしない、やる気がないように見える
- 平衡感覚の低反応に伴う自己刺激行動
 - ・飛び跳ねる、くるくる回る、高いところによるなど
- 覚醒の不安定さ
- 眼球運動の問題
 - ・注視、追視、まなざしを合わせることが苦手
 - 読み書きの困難さ
 - ・物や人の動きを見極める活動が苦手
 - ボール遊び、絵カードやかるた遊びなどの苦手さ
- 自律神経の問題
 - ・重力不安、姿勢不安
 - 動体視力が低い、壁頭を傾けたり、身体が傾いたりするのを嫌がる

感覚統合とは

感覚のトラブルから子どものつまずきを理解する

固有感覚の統合のつまずき

- 力加減が調節できず 動作が乱暴
- 固有感覚の低反応に伴う自己刺激行動
- 身体の使い方が不器用
 - ・何かにぶつかったり、転んだりしやすい
 - ・ダンスや体操が苦手
 - ・スキップやケンケンパが苦手
 - ・姿勢が悪く、ダラダラして見える
- 手先が不器用
 - ・書をうまく操作できない
 - ・折り紙やはさみなど細かい作業が苦手
 - ・文字がうまく書けない



参考文献

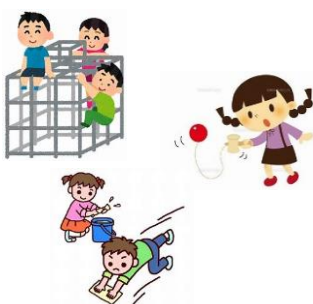
- 子ども理解からはじめる感覚統合あそび
加藤 寿宏 監修 高畑 裕平 萩原 広道
田中 佳子 大久保めぐみ 編著
クリエイティブかもがわ
- 保育者が知っておきたい発達で気になる子の感覚統合
著 木村 順 協力 小黒 早苗
Gakken
- 発達の気になる子の学校・家庭で楽しくできる感覚統合あそび
川上 康則 監修
ナツメ社



学習会を終えての参加者の感想

★たくさん感想をいただきありがとうございました。一部紹介させていただきます★

- 感覚統合の7つの感覚についてはよく話を聞くが、発達していく上での原則や発達（統合）のつまずきが具体的に子どものどのような姿となって表れるのか等、詳しく知ることができてよかった。子どもの気になる行動の背景を、感覚の発達の視点からも見て、よりよい支援について考えられるようにしていきたい。
- どの感覚につまずきがあるのか、意識して生徒を観察し、それに合った支援をしていきたいと思いました。また、感覚統合遊びもたくさん紹介していただいて、何からしてみようかなとワクワクしています。
- 感覚統合の理論について、分かりやすく説明していただき、よく理解できました。担当の生徒を思い浮かべながらお話を聞いていると、生徒へのアプローチのヒントが分かってきました。感覚統合は、どの生徒にとっても大事なことだと考えますので、今後支援する際には頭において取り組みたいと思います。最後のゲームは、教員同士のコミュニケーションがとれ、実体験をして勉強になりました。
- 感覚統合について学ぶ研修は初めてだったので、今回学ぶことができて良かったです。よく体をぶつけてしまう生徒や手先が不器用な生徒に対して、今回学んだゲーム等を活用していきたいと思います。
- 「平衡感覚」や「固有感覚」について、はたらきの説明や実験があり、とても分かりやすかったです。遊びの中で楽しく基礎感覚を積み上げられるようにしたいと思いました。
- とても充実した研修でした。楽しく学ぶ、最高です。
- 子どもを捉える目は色々知っておくことで、アプローチの方法が変わってくると感じました。子どもの実態を捉える難しさを実感しつつ、どうすれば学びに向かえるのかをしっかりと考えたいと思います。
- 楽しく学習をさせてもらいました。今、自分が見ている生徒の顔を思い出しながら、どんなアプローチができるか考えることができました。後期からの学習に生かしていきたいと思います。
- 感覚統合について無知でありましたが、感覚の中でも触覚や無意識に使っている固有感覚や平衡感覚が大切だということから、実際の具体的な遊びを通して幅広く教えていただき、とても勉強になりました。特に、なぜ暴力的な子どもや姿勢を保持できない子どもが、感覚統合によって変わるのかという疑問を、理論だった背景による説明で詳しく教えていただけたことが勉強になりました。



感覚統合遊びは、昔ながらの遊びや普段やっている遊びにたくさん含まれています。また、日々の生活の中の活動やお手伝いなどにもとても有効な活動が詰まっています。子どもに合ったアプローチを考え、楽しく実践できたらと思います。子どもは一人一人違うので、目の前の子どものつまずき、困り感、気になる行動が、どういうところからきているのか、いろいろな視点で捉え、子どもを理解していくことが大切だと改めて感じました。